

# 船舶運航事業経営戦略

～持続可能な船舶運航事業の経営を目指して～

平成29年3月

上 関 町

# 上関町船舶運航事業経営戦略

団 体 名 : 上関町

事 業 名 : 船舶運航

策 定 日 : 平成 29 年 3 月

計 画 期 間 : 平成 28 年度 ~ 平成 37 年度

## 1. 事業概要

### (1) 事業形態等

法適用(全部適用・一部適用)・法非適用の区分	法非適用		
職 員 数	3人	年 間 輸 送 人 員 数	11.0千人
営 業 航 路	13.5km	在 籍 船 舶 数	1隻
運 航 路 線 数	1本	平 均 船 齢	21年
年 間 運 航 キ 口	28.1千km	乗 船 効 率 * 1	5%

\*1 乗船効率は 延人キロ ÷ (運航キロ × 平均乗船定員) × 100

### (2) 料金形態

	年 月 日	制 度 及 び 賃 率
上 限 認 可	平成26年5月7日	旅客運賃・手荷物運賃・小荷物運賃
実 施	平成26年10月1日	旅客運賃・手荷物運賃・小荷物運賃・貨物運賃

### (3) 現在の経営状況

料 金 収 入 ※過去3年度分を記載	H25	4,705千円	H26	4,011千円	H27	4,347千円
経 常 収 支 比 率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	H25	101.3%	H26	96.4%	H27	102.5%
純 損 益 (又は実質収支) ※過去3年度分を記載	H25	2,047千円	H26	689千円	H27	1,599千円
資 金 不 足 比 率 * 2 ※過去3年度分を記載	H25	0%	H26	0%	H27	0%

#### 【上記の指標等を踏まえた現在の経営状況の分析】

料金収入は、400万円を超える位にとどまっている。純損益は他会計からの繰入金により保たれているので、資金不足には至っていない。

\*2 ここでいう資金不足比率とは、地方財政法による資金不足比率を指し、以下の算式により算出するものとする。

資金不足比率〔法適用企業の場合〕 = (地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額) ÷ ((営業収益) - (受託工事収益)) × 100

資金不足比率〔法非適用企業の場合〕 = (地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金の不足額) ÷ ((営業収益) - (受託工事収益)) × 100

## 2. 経営の基本方針

当八島～上関航路は、八島島民にとっては本土への唯一の交通手段である。生活物資、郵便物、宅配物の輸送や通院、通勤、日常生活物資の買い物等、島民の基本的な生活確保のため必要不可欠な航路であるため、この航路を維持してゆかなくてはならない。そのためには、安全運航に努めること及び経営の健全化を図っていく。

## 3. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

### ①収支計画のうち投資についての説明

航路の安全確保及び経費の削減を考え主機換装を平成28年度に実施した。今後修繕費及び燃料費の経費削減が図られ、事故対策の一因になり、安全・安定的な運航が図られる。

また、乗客が船の乗り降りに対して安全対策として手摺り付き歩板を設置し、高齢化している利用者の安全性に配慮した。さらに、空調設備が故障したので、乗客が快適に利用できるように機器を設置した。

このように、平成28年度中に船舶の大規模改修を行ったため、当面の投資的な経費は発生しない見込である。

### ②収支計画のうち財源についての説明

財源は、運賃収入及び国・県の補助金並びに町からの繰入金により運営している。島内人口が減少し、利用者も自然減が予測されるため、料金収入も減少する見込である。国・県の補助金及び町の繰入金に頼り運営していきたい。

### ③収支計画のうち投資以外の経費についての説明

平成28年度より、船員2名いる中で1名が60歳の定年を迎え再任用で乗船することになった。また、事務員も人事異動により若い事務員となり、両者で船員等の人件費等の削減が図られた。

また、原油の高騰が長年続いていましたが、現在安価に落ち着いているため、燃料費の削減も図られている。今後とも経費削減に向けて取組んでいきたい。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュール等を記載すること。

\* (1)において黒字の場合においても、投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

平成27年度決算において、4,347千円の運賃収入に対して、36,961千円の営業費用が必要となっている。毎年経費の削減に努めているが、航路欠損額解消には行き着かない。

島民共々イベントを開催し、また、島の魅力を観光協会HPや道の駅「上関海峡」等で紹介し、観光客の増による運賃収入を増加を目指す。

## 4. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略体制をPDCAサイクルにより継続的に改善し、収支計画の向上を図る。

投資・財政計画  
(収支計画)

(単位:千円, %)

区分	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
		(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)
収益的収入	1 総収入	36,307	37,871	35,935	35,090	39,401	39,837	44,386	41,351	41,946	42,442	45,972	38,546
	(1) 営業収入	4,011	4,347	3,976	3,827	3,683	3,544	3,411	3,283	3,159	3,040	2,926	2,816
	了料金収入	4,011	4,347	3,976	3,827	3,683	3,544	3,411	3,283	3,159	3,040	2,926	2,816
	イ受託工事収入												
	ウその他の収入												
収益的支出	(2) 営業外収益	32,296	33,524	31,959	31,263	35,718	36,293	40,975	38,068	38,787	39,402	43,046	35,730
	了他会計繰入金	6,002	3,240	3,715	2,490	5,381	6,239	11,856	9,734	11,224	11,306	11,056	3,583
	イその他の費用	26,294	30,284	28,244	28,773	30,337	30,054	29,119	28,334	27,563	28,096	31,990	32,147
	2 総費用	37,665	36,961	36,361	35,090	36,461	36,897	41,446	41,402	38,411	39,006	39,442	38,546
	(1) 営業費用	37,665	36,961	36,361	35,025	36,393	36,841	41,402	41,402	38,378	38,985	39,433	38,546
資本的収入	了職員の給与	18,882	19,676	17,620	15,369	15,594	15,823	16,056	17,351	17,725	18,108	18,500	18,900
	イその他の収入	18,783	17,285	18,741	19,656	20,799	21,018	25,346	21,027	21,260	21,325	27,472	19,646
	(2) 営業外費用				65	68	56	44	33	21			
	了支払利息				65	68	56	44	33	21			
	うち一時借入金利息												
資本的支出	うち資本費平準化償分												
	イその他の支出												
	3 収支差引(A)-(D)-(E)	△ 1,358	910	△ 426		2,940	2,940	2,940	2,940	2,940	2,940	3,000	
	1 資本的収入			17,700									
	(1) 地方資本費平準化償分			17,700									
資本的収入	(2) 他会計補助金												
	(3) 他会計借入金												
	(4) 固定資産売却代金												
	(5) 国(都道府県)補助金												
	(6) 工事負担金												
資本的支出	(7) その他の支出												
	2 資本的支出			18,873		2,940	2,940	2,940	2,940	2,940	3,000		
	(1) 建設改良費			18,873									
	うち職員給与												
	うち資本費平準化償還金					2,940	2,940	2,940	2,940	2,940	3,000		
資本的収入	(3) 他会計長期借入金返還金												
	(4) 他会計への繰出金												
	(5) その他の収入												
	3 収支差引(F)-(G)			△ 1,173		△ 2,940	△ 2,940	△ 2,940	△ 2,940	△ 2,940	△ 3,000		

投資・財政計画  
(収支計画)

(単位:千円, %)

区分	年度	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算) 〔見込〕	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
収支再差引	(E)+(I)	△ 1,358	910	△ 1,599									
積立金	(K)												
前年度からの繰越金	(L)	2,047	689	1,599									
前年度繰上充用金	(M)												
形式収支	(J)-(K)+(L)-(M)	689	1,599										
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)												
実質収支	字(P)	689	1,599										
(N)-(O)	字(Q)												
赤字比率	$(\frac{Q}{(B)-(C)}) \times 100$												
収益的収支比率	$(\frac{A}{(D)+(H)}) \times 100$	96	102	96	100	100	100	100	100	100	100	100	100
地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金不足額	(R)												
営業収益 - 受託工事収益	(B)-(C)	4,011	4,347	3,976	3,827	3,683	3,544	3,411	3,283	3,159	3,040	2,926	2,816
地方財政法による 資金不足額の比率	$(\frac{R}{(S)} \times 100)$												
健全化法施行令第16条により算定した 資金不足額	(T)												
健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額	(U)												
健全化法施行令第17条により算定した 事業の規模	(V)	4,011	4,347	3,976	3,827	3,683	3,544	3,411	3,283	3,159	3,040	2,926	2,816
健全化法第22条により算定した 資金不足比率	$(\frac{T}{(V)} \times 100)$												
他会計借入金残高	(W)												
地方債残高	(X)			17,700	17,700	14,760	11,820	8,880	5,940	3,000			

○他会計繰入金

(単位:千円)

区分	年度	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算) 〔見込〕	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
収益的収支分		6,002	3,240	3,715	2,490	5,381	6,239	11,856	9,734	11,224	11,306	11,056	3,583
うち基準内繰入金		336	416	456	456	476	480	480	480	480	480	480	480
うち基準外繰入金		5,666	2,824	3,259	2,034	4,905	5,759	11,376	9,254	10,744	10,826	10,576	3,103
資本的収支分													
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金													
合計		6,002	3,240	3,715	2,490	5,381	6,239	11,856	9,734	11,224	11,306	11,056	3,583

## 補足資料

### 利用者数

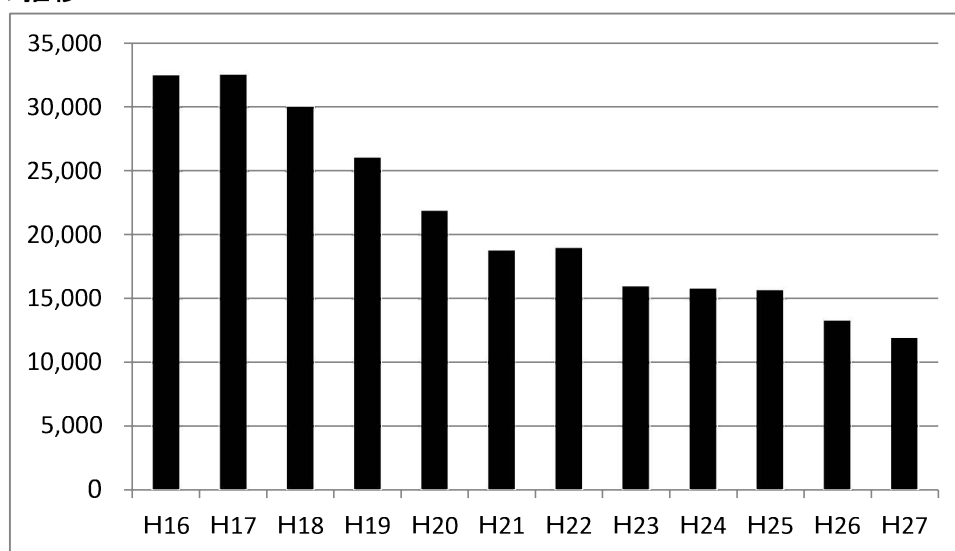
#### 経年推移、利用者変動

- ・八島～上関航路の利用者は、H18以前は年間3万人を超えていたが、近年は1万人を超える推移となっている。
- ・区間別の利用者では、上関～室津及び室津～上関間の利用者が多く、そのうち中学生の通学利用者が大部分を占めている。
- ・月別利用者数の定期利用者とは、中学生及び看護師・郵便局員の定期利用者となっている。
- ・月別利用者の一般では、8月が最も多く、お盆や島のイベントでの島外からの利用者が多いものと考えられる。一方、12月～2月の厳冬期は利用者が少ない。

※ この補足資料の年度区分は、航運会計年度で表す。(10月1日から翌年9月30日までの間)

#### 八島～上関航路

##### ▼利用者数の推移



##### ▼区間別利用者数(H26.10～H27.9)

	上関	室津	八島	合計
上関 ⇒		2,913.0	1,618.0	4,531.0
室津 ⇒	2,978.5		1,382.0	4,360.5
八島 ⇒	1,557.5	1,454.0		3,011.5
合計	4,536.0	4,367.0	3,000.0	11,903.0

##### ▼月別利用者数(H26.10～H27.9)

	一般	定期	医師	計
10月	364.0	650.0	6.0	1,020.0
11月	376.0	650.0	4.0	1,030.0
12月	258.0	650.0	4.0	912.0
1月	229.0	650.0	4.0	883.0
2月	290.0	650.0	4.0	944.0
3月	365.0	650.0	4.0	1,019.0
4月	327.0	600.0	6.0	933.0
5月	531.0	600.0	4.0	1,135.0
6月	500.5	600.0	4.0	1,104.5
7月	419.0	600.0	4.0	1,023.0
8月	780.0	100.0	4.0	884.0
9月	461.5	550.0	4.0	1,015.5
計	4,901.0	6,950.0	52.0	11,903.0

## 収支状況

- ・本航路の運航収支はH27で4,313千円、運航費用は36,748千円で約32百万円の赤字となっている。
- ・この赤字については、国、山口県が補助金として補填している。

### ▼運航収益の内訳

#### 収入の推移

(単位:千円)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
期間区分	H20.10~H21.9	H21.10~H22.9	H22.10~H23.9	H23.10~H24.9	H24.10~H25.9	H25.10~H26.9	H26.10~H27.9
旅客収入	4,636	5,876	4,392	3,774	4,021	3,538	3,559
貨物運賃収入	1,057	1,129	874	742	694	628	525
郵便航送料	228	213	210	200	207	227	229
雑収入	0	0	0	0	0	0	0
<b>合計</b>	<b>5,921</b>	<b>7,218</b>	<b>5,476</b>	<b>4,716</b>	<b>4,922</b>	<b>4,393</b>	<b>4,313</b>

#### 支出の推移

(単位:千円)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
期間区分	H20.10~H21.9	H21.10~H22.9	H22.10~H23.9	H23.10~H24.9	H24.10~H25.9	H25.10~H26.9	H26.10~H27.9
旅客費	350	472	362	360	332	261	374
貨物費	216	242	207	197	167	147	134
燃料潤滑費	5,935	5,239	6,156	6,816	7,408	7,738	6,859
養缶水費	15	16	26	25	25	25	26
港費	2,970	2,970	2,970	2,970	2,970	2,970	2,970
運航雑費	27	27	29	31	38	33	37
船員費	18,161	18,841	18,640	23,400	16,691	16,823	17,747
修繕費他	1,843	3,534	941	1,741	1,047	2,990	1,245
<b>運航費用計</b>	<b>29,517</b>	<b>31,341</b>	<b>29,331</b>	<b>35,540</b>	<b>28,678</b>	<b>30,987</b>	<b>29,392</b>
営業費用	7,634	8,429	7,910	7,112	5,913	7,174	7,356
<b>費用計</b>	<b>37,151</b>	<b>39,770</b>	<b>37,241</b>	<b>42,652</b>	<b>34,591</b>	<b>38,161</b>	<b>36,748</b>

#### 航路欠損額

(単位:千円)

